

第3回理事会(拡大)を開催

3月18日

15人が参加、小規模多機能、3つの事業所からの報告を中心に論議

3月18日、夕方6時30分、岡山県民主会館の会議室で第3回理事会を開催しました。今回は、みんなの家ななくさ、かるがも、だんだん、の3つの事業所より、管理者、ケアマネ、事務長にもご参加いただき、理事と合わせて15人で開催されました。

2013年12月1日、講師に介護ライター野田明宏さんと岡山市保険福祉局次長の森安浩一郎さんを招いて開催した「介護は社会化されたか 高齢者の人権を考える」学習集会と今年2月1日開催の岡山県地域人権問題研究集会2014の分科会「高齢者と地域づくり」に、ななくさ管理者の住宅俊乃さんが利用者さん中心に置いた介護と地域のとりくみを報告されたこと、などが報告されました。

その後、3つの事業所の一年間の振り返りや課題と現状などが出し合われ、安心・安全の地域づくりに寄与しようという姿勢と実践の蓄積が地域住民や行政、福祉関係者から着実に信頼を得てきていることが確認できる会議となりました。

各事業所の年間まとめ

(1)利用実態推移表(2013年4月1日から2014年3月末)

①小規模多機能型居宅介護事業所 みんなの家ななくさ (北区西崎本町1-7 2006年7月開設)

年/月	13.4	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	14.1	2月	3月
介護	20人	20	19	19	19	18	18	18	16	15	14	15
予防	5人	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
計	25人	25	24	24	24	23	23	23	21	20	19	20

②小規模多機能ホーム みんなの家かるがも (南区浦安本町158) 2010年4月開設

年/月	13.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	14.1	2月	3月
介護	16人	15	15	16	15	17	17	19	19	21	19	18
予防	4人	4	7	7	7	4	4	4	4	3	2	2
計	20人	20	22	23	22	21	21	23	23	24	21	20

③小規模多機能ホーム みんなの家だんだん (北区西崎本町1-10 2013年7月開設)

年/月	13.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	14.1月	2月	3月
介護				3人	3	4	5	7	9	9	10	10
予防				0人	0	0	0	1	1	1	1	1
計				3人	3	4	5	8	10	10	11	11

(2)年間利用人数と介護度

ななくさ	270人	22.5人/月	登録定員上限25人
かるがも	260人	21.7人/月	登録定員上限25人
だんだん	65人	7.2人/月	12月まで10人、1月から18人
合計	595人	合計介護度	1266 一人平均介護度 2.12

(3)新規利用者さんの紹介者

ななくさ 2名 家族から1名 地域包括センターから 1名
かるがも 13名 地域包括センターから 13名
だんだん 12名 病院 1名 居宅事業所 3名 地域包括 4名 地域組織など 4名

(4)中止になった利用者さん

ななくさ 7名 死亡 7名
かるがも 12名 入院 7名 他施設へ 3名 家庭に 2名
だんだん 1名 入院 1名

(5)現在の利用者一覧 (2014年3月1日・現在)と課題

みんなの家ななくさ

	利用者数	介護者 65 歳以上	独居	認知症	独居かつ認知症	後見人
要支援 I・II	5		5			
要介護 I	0					
要介護 II	5		4	3	2	
要介護 III	6	1	5	5	5	
要介護 iv	3		3	2	2	1
要介護 V	1		1	1	1	
合計	20	1	18	11	10	1

みんなの家かるがも

	利用者数	介護者 65 歳以上	独居	認知症	独居かつ認知症	後見人
要支援 I・II	3		1			
要介護 I	8		7	2	2	
要介護 II	7	1	4	4	4	3
要介護 III	0					
要介護 iv	2	1	1	1	1	
要介護 V	0					
合計	20	2	13	7	7	3

みんなの家だんだん

	利用者数	介護者 65 歳以上	独居	認知症	独居かつ認知症	後見人
要支援 I・II	1		1			
要介護 I	2		2			
要介護 II	3	2	1	1	1	
要介護 III	2	1	1	1	1	
要介護 iv	2			1	(同居の妻認知)	
要介護 V	1		1			
合計	11	3	6	3	2	

3つの事業所 51名の利用者さん

	利用者数	介護者 65歳以上	独居	認知症	独居かつ認知症	後見人
要支援Ⅰ・Ⅱ	9					
要介護Ⅰ	10					
要介護Ⅱ	15					3
要介護Ⅲ	8					
要介護Ⅳ	7					1
要介護Ⅴ	2					
合計	51	6	37	21	19	4

51名のうち37名、72.5%の方が一人でお住いです。そのうちの半数以上の方、19人が認知症症状呈しています。独居でない方14名のうち6名の方は高齢者の方が自宅で介護をされているということになります。構造的な問題ではありますが、在宅で最後まで暮らすうえで大きな課題が、3つの小規模多機能ホームの利用者さんのおかれている実態からも明らかになっています。

(6)経営状況

2013年4月から2014年2月末まで、11か月間収支

単位 万円

	ななくさ	かるがも	だんだん	合計
収入	5,434	3,744	1,228	10,406
支出	4,708	3,637	1,611	9,956
営業利益	726	106	-383	449
その他の収入	923	0	0	923
経常利益	1,649	106	-383	1,372

その他の収入は、住宅慎通さんの生命保険からの支給です。営業利益の中には、介護職員処遇改善加算金も含まれています。その加算金、3月末に賞与として約430万円(保険料を含む)を支給しました。だんだんの施設など減価償却費などを算入していくと、今年度の収益はほぼゼロに近い結果となりそうです。

(7)ななくさ、だんだん事業所、2014年度方針の柱(かるがもは4月初めに論議して決めます)

- 1 理念に基づいて実践する。体制作りを目指す
- 2 職員間の連携とチームの介護確立
- 3 介護の質の向上を目指す。介護技術の向上、認知症に対する理解
- 4 地域とのかかわりを強め交流を深める
- 5 防災の対応確立

2014年度総会の開催について

理事会では、次回の理事会と通常総会の開催日程なども論議し、以下のように決定しました。

(1) 第4回理事会の開催

5月15日(木)午後6時30分/民主会館

総会に向けた準備 活動計画策定について 法人として後見人活動、権利擁護活動はそのための組織的準備は

(2) 2014年度総会の開催

6月12日(木)午後6時30分/民主会館

短 信

浅田訴訟 第4回口頭弁論は5月21日(水)午前11時30分 岡山地裁

浅田達雄さんは2013年9月19日に岡山地方裁判所に「岡山市介護給付費等不支給(却下)決定」に対して、処分取り消しを提訴しました。11月27日が第1回口頭弁論の日でした。第2回が今年1月15日、そして第3回が3月12日、と展開されています。

第3回の公判では、岡山市は市が浅田さんに行った処分が「自立支援法7条に基づく羈束(きそく)処分(裁量が認められない処分)であった」と述べました。また、移動中介護支援など介護保険ではできない支援までも当初の決定では支給しなかったことは誤りであったと改めて法廷でのべました。

事務局の吉野先生は全国の政令市での同様のケースについての対応なども調査しており、岡山市のといった不支給処分のもつ人権侵害の内容とその重さがさらに明らかになってきました。今回は、5月21日。引き続きの支援、よろしくお願いします。

.....

震災復興バザー 岡山県人権連第11回総会

日時 2014年4月20日(日) 総会9時30分 バザー11時30分頃より
場所 岡山市北区津島 旧・労金ビル 大会議室

売り上げを復興支援にしたい、できればお昼ご飯を一緒にという思いですが通じて、ななくさから「ばら寿司」を提供してもらいます。だんだんの池田ケアマネからは「おこわ」を。日用品などのバザーもあります。

この日のバザー用品として、12日までに提供していただける方、民主会館の事務所、吉岡、田中までご連絡ください。

震災から3年が経過しました。青年たちが4月下旬に、岩手県宮古市へ支援物資を車で運びます。お米、野菜、食器などが喜ばれるようです。

「若者と学ぶ 部落問題解決の道筋」第5回学習会

日時 2014年4月5日(土) 午前9時30分~12時

場所 岡山県民主会館 2階会議室 (岡山市北区下伊福西町1-53)

今回は、明石将敬さんをゲストに招いて報告をお願いしました。明石さんは、社会保険診療報酬支払基金の全国書記長として労働者の権利拡張のため奮闘されてきました。当局と第2組合からの攻撃に対して市民的連帯のもとで人権確立のたたかいを展開されてきた方でもあります。その結果、職場での部落問題を利用した分断を許さず、職場の民主化に結び付ける成果もあげてきました。

部落問題解決に向けて、戦前の水平社運動、全解連、人権連と発展させてきた組織とその活動を振り返り、青年たちにも伝えていきたいと思います。

組織内外、年齢を問わず、どなたもご参加ください。参加費は無料です。

この世から核兵器と戦争がなくなる日を信じて ニューヨーク滞在記

2010年5月、NPT(核不拡散条約)再検討会議の成功をめざして、ニューヨークに向いた岡山県代表団の一人であった住宅慎通さんの記録、遺稿にもなりましたが、パンフにまとめたものが完成しました。